発行人　諏訪 榮治郎
編　集　スタッフ一同

第30号
2016年6月1日発行

カトリック大阪教会管区
カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家

大船渡だより

カリタス大船渡ベースの活動紹介コーナー★

快晴♪鯉のぼりイベント ～inハネウェル居場所ハウス～

末崎町のハネウェル居場所ハウスにおいて毎年5月に行われている「こどもの日・鯉のぼりイベント」へ今年もお手伝いに伺い、居場所ハウススタッフと大船渡ベースを含めた多くのボランティアの協力のもと、大勢の方々が来場しました。

大船渡ベースはヨーヨー釣りやホタテ貝殻投げといったゲームコーナーや手作り鯉のぼりコーナー、焼きそば、かき氷など飲食コーナーの担当、補助をしました。特設ステージでは地元の保育園児や舞踊家の踊り、来場者のカラオケ大会やピエロのパフォーマンスが行われ、大きな拍手が起こっていました。

今年は熊本、大分で4月から発生している地震の被災者への支援活動として募金箱を設置し、多くの来場者に支援を呼びかけました。

ワクワク★ミニゲーム大会開催！

4月29日(祝)、ベースにて「ミニゲームに挑戦」というイベントを開催しました。朝から雨が降りだし、参加者が少ないのではと懸念しながら待っていましたが、幼児と子ども、老若男女が集まり、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。特に、94才の方とお孫さんのような9才の男の子の対戦には、皆の応援にも力が入りました。年令の違いを超えて家族みんなで遊びに興じることが出来、とても楽しい一日となりました。

帰りがけに子ども達は「また来るね」と言ってくれました。そしてうれしそうに帰って行く姿はとてもほほえましかったです。

運動会を支援しています。

駐車場係の
お手伝いの様子→

5月は気仙地方では小中学校の運動会シーズンです。この時期に開催することによって、クラスが、学年が、学校がひとつにまとまり、学校と保護者の交流も深まる大切な学校行事です。

ところが大震災の後、学校の校庭には仮設住宅が建設され、運動会を開催できなくなってしまいました。そこへ、企業と教育現場をつなぐコンサルタント会社が事務局となり、「学校スマイル応援プロジェクト」を立ち上げ、趣旨に賛同する企業から協賛金とスタッフを募り、被災地の学校の運動会の支援にやって来てくださいました。

大船渡小学校の校庭には津波が流れ込んだため、仮設住宅が建設されず、その校庭を近隣の小中学校で交代に使って運動会を開催することになりました。その他の仮設グランドでの開催もされるようになりました。テント、ベンチ、音響設備、仮設トイレ、競技用具、児童生徒や保護者の移動用のバスまで無料で支援して下さいました。そのプロジェクトに「カリタス大船渡ベース」はボランティアを派遣し、企業の方々と一緒に、主に駐車場係のお手伝いをしました。

震災から5年が経過し、大船渡市は今年の夏には学校の校庭にある仮設住宅をすべて撤去する方針を打ち出しました。運動会支援は今年が最後になりそうです。

大船渡市の元中心地の様子（2016/5/11　撮影）

強風とどしゃ降りの中…

尾崎神社式年大祭開催！

5月4日、大船渡市赤崎町に鎮座する尾崎神社の式年大祭は、震災の影響で中止になり8年ぶりの開催となりました。五穀豊穣や豊漁などを願う大祭は尾崎神社と八坂・厳島神社の神輿が合流して始まりました。あいにくの春の嵐に見舞われる中、伊勢神宮の「伊勢百桃の会」が巫女舞を披露。神事の後は、中赤崎・蛸ノ浦・長崎・永浜・上三区が地区ごとに笛や太鼓に合わせて権現様獅子舞と和服姿も麗しい子供と女性達の手踊りが披露されました。強風とどしゃぶりの中、懸命に踊り続ける幼子たちの姿に感銘を受けました。

祭りのフィナーレは、大漁旗をなびかせた地元漁船が神輿を乗せた船を囲んで30艘が大船渡湾を一巡する曳船祭り。その勇壮な姿に赤崎町のみならず、大船渡市全体の復興に明るい希望を持ちました。

～イチジクの会発足～

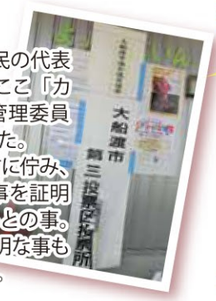
震災前に行われていた「ケセン語訳聖書を楽しむ会」が震災のため中断していましたが、多くの方々からのご要望があり、5月から第2と第4の火曜日に、カリタス大船渡ベースにて、山浦玄嗣氏を講師にお招きして再開することになりました。震災後の苦難の中、ギリシャ語を原本とする日本語訳新約聖書四福音書「ガリラヤのイエシュー」と解説書「イチジクの木の下で 上巻・下巻」の3冊が刊行され、それをテキストとして山浦氏のお話があります。

初回の10日は、出席者16名。カトリックの信徒のみならず、市外、県外から、また洗礼志願者の方や聖書に興味をお持ちの方々などが集い、山浦氏の話術によって、皆聖書の世界に引き込まれ、楽しい一時を過ごしました。この講話は、YouTubeで配信できるように準備して下さっています。どうぞお楽しみにお待ちください。

山浦玄嗣氏プロフィール

１９４０年東京生まれ。生後すぐ岩手県に移住、大船渡市で育つ。故郷気仙郡一円に生きている言葉「ケセン語」を体系化し、気仙の人々の心に届くようにと地元の言葉で四福音書を翻訳し、２００４年特別謁見のなかで教皇ヨハネ・パウロⅡ世に「ケセン語訳新約聖書」を献呈した。２０１３年、教皇ベネディクト１６世より「バチカン有功十字勲章」を授与された。医師・言語学者・詩人・物語作家。

ベースが投票所に！



4月24日に投票が行われ、有権者32,208人市民の代表として市政に携わる20人の新議員が決まりました。ここ「カリタス大船渡ベース　地ノ森いこいの家」は市選挙管理委員会の依頼を受け、地区投票所として会場を提供しました。

当日早朝6時前から1組の親子が、冷たく寒い玄関前に佇み、開場を待っていました。理由は、投票箱が空である事を証明する立会人になりたいので、毎回1番乗りをしているとの事。投票所を訪れる人はまばら。投票率は、政見が不透明な事もあってか過去最低となり、関心の薄れが目立ちました。

ボランティアさん大募集!!!　ベースからのお矢Oらせ

皆様のご協力を
よろしく願い致します。

- ●6月18日 19日　居場所ハウス 3周年記念イベント手伝い
- ●7月10日　三陸サイコー商店街1周年記念イベント 子ども縁日手伝い
- ●7月12日～14日　キャリアチャレンジデイ
  （大船渡市の全中学2年生を対象にした職業体験学習をリアスホールで行います。会場準備から当日の生徒の誘導、タイムキーパーなどのお手伝いをします。）

4月・5月 地域の変化・活動紹介

4月

16日：居場所ハウスイベント手伝い
17日：抹茶サロン
19日：後ノ入仮設住宅 メンズサロン・個人依頼 荷物運び
20日：地ノ森仮設住宅足湯と手もみ
　　舘下仮設住宅 お花見お抹茶・カリタスシネマ
21日：下船渡仮設住宅　たこ焼き
24日：大船渡市議会議員選挙投票所としてベース使用
26日：後ノ入仮設住宅　メンズサロン
　　地ノ森仮設住宅　映画上映
27日：おでかけ広場（社協主催）
28日：個人依頼引越し手伝い
　　富沢仮設住宅　お好み焼
　　ハナミズキの会　足湯と手もみ
29日：ベースイベント
　　ミニゲームに挑戦
30日：個人依頼　農業支援

5月

3日：居場所ハウス　鯉のぼりイベント手伝い
4日：個人依頼　引越し手伝い
5日：個人依頼　農業支援
6日：舘下仮設住宅　たこ焼き
7日：地ノ森仮設住宅　買物送迎
8日：子ども支援　大船渡教会子どもの集い
10日：後ノ入仮設住宅 メンズサロン・カリタスシネマ
11日：震災から5年2ヶ月
　　大田仮設住宅 たこ焼き・平林仮設住宅 お好み焼き
12日：個人依頼 草取り・大立仮設住宅 カリタスサロン
13日：元気度アップ教室・個人依頼 引越し手伝い
14日：学校スマイル応援プロジェクト 末崎中学校運動会支援

ボランティア登録者数

男性547人、女性996人：合計1543人

◆4月16日～5月15日　ボランティア数　男性：3名、女性：9名

カリタス大船渡ベース　地ノ森いこいの家
〒022-0002　岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森43-2
電話・FAX：0192-47-4737（9：00～18：00）
急用時：090-5666-1747
●Eメール：ofunatobase@gmail.com　●ブログURL：http://ameblo.jp/ofunatobase/